

## 生涯発達研究教育センター活動報告 (2023年度 共同研究資金援助による活動) 「シンガポールにおける子どもの社会情動的スキルの発達に関わる保育・教育環境」

眞榮城 和美・目良 秋子・宮下 孝広 (白百合女子大学)

生涯発達研究教育センターでは、学外の共同研究機関から「乳幼児期から児童期の指導に関する考え方・指導法全般に関する発達心理学および教育心理学的研究」への助成を得て研究に取り組んできている経緯がある。研究活動全体の目標は、大学・地域連携活動に基づく「よりよい子育て環境づくり」に向けた知見を蓄積し、乳幼児期から児童期の指導に関する考え方・指導法全般に関する発達心理学および教育心理学的研究を継続・発展させことである。2023年度の研究では、大学と地域が連携して取り組んでいる子育て支援活動に参画した学生やOGおよび教職員の子ども理解・子どもへの関わり方・社会的課題発見力に関わる要因について生涯発達心理学的観点から検討することを目的として活動した。

具体的な活動内容は下記の計画の通りであった。

研究対象者は次の2グループを設定した。①子育て支援活動として展開している「人間総合学部エデュテイメント大学」および「りすぶらん・あんふあん」に参加した学生およびOG。②外国につながる家庭支援活動に参画している教職員および学生スタッフ。研究方法として、フィールドワークおよびインタビュー調査での実施を計画した。研究活動内容は次の2点とした。①学生が主体的に地域社会における課題を見出し、社会連携活動を企画する際に役立つ情報収集および施設視察。②アンケート調査内容の選定(過去に社会連携活動に参画した卒業生を対象としたインタビュー内容の検討)。

なお、本研究活動は生涯発達心理学の観点から縦断研究の形式で取り組んでいる。そのため、今回は①施設視察を中心に報告した。

【キー・ワード】 社会情動的スキル, 乳幼児期, 児童期, 子育て・子育て支援, 社会連携活動

### 1. シンガポール視察の背景

2023年3月6日(月)から3月10日(金)の5日間、シンガポール社会科学大学Singapore University of Social Sciences (SUSS)の学生19名と本学学生総勢26名がアジア地域の子育て環境について学ぶことを目的とした交流学习を行った。本活動に参加したSUSSと本学の学生たちは、オンラインでの事前学習(2時間×2回)を受講した。内容は、日本の幼児教育現場の専門家や心理臨床家による、日本の子育ての

現状に関するレクチャーであった。事前学習に基づき、来日前に事前学習レポートに取り組んだ。レポートテーマは、「日本の幼児教育と社会的支援に関する問題について1000字のエッセイを書く。」であった。

来日後の交流学习の体験時には、学内の重要文化財施設(めぐみ荘)での茶道体験など、日本文化の理解に繋がる体験をすると同時に、日本の乳幼児の発達を取り巻く現状について講義を受け、グループディスカッションをするなどの学習を進めた。

学内体験学習では、白百合の森を活用したプチ森林



1-1. レクチャー後のディスカッション風景



1-2. 本学学生がリードして行ったリラクゼーション活動



1-3. りすぶらん・あんふあん『えいごであそぼ〜げきごっこ〜』

Withせんがわ劇場DELメンバー 共催：公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

セラピー体験、「りすぶらん・あんふあん『えいごであそぼ〜げきごっこ〜』」など、地域住民にも本学の取り組みを還元できる機会を設けた。また、調布市の子育て支援施設（子ども家庭支援センター「すこやか」&子育て支援カフェ「aona」）への視察学習も行った。「りすぶらん・あんふあん『えいごであそぼ〜げきごっこ〜』」に参加した家庭からは、「とっても楽しかった」「また参加したい」とのコメントが寄せられた。

活動最終日には、SUSS学生による学習成果プレゼンテーションが行われた。日本とシンガポールとの類似性と相違性に着目し、子育てにまつわる課題の解決方法について具体的な見解が示され、率直なディス

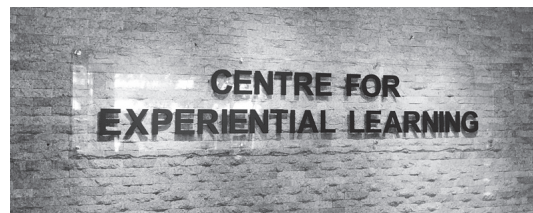
カッションが繰り広げられた。本学学生たちからは「SUSSの学生さんならではの、普段発達心理学を専攻されていない方の視点ならではの問題に対する切り込み方、疑問点に終始感心させられっぱなしだったように思います。」「SUSSの学生さんの積極性にはとにかく圧倒され、とても刺激的で、濃い、充実感のある2日間を過ごせました。」「留学生と関わる経験ができ、学びが大きかったです。シンガポールの子育てや親のしつけの実態を知ることができ、日本とは異なる点が多く、視野が広がりました。」といった感想が寄せられた。この活動を今後も継続展開していくため、SUSSへ本学学生が何うなど、相互交流の発展についても検討が開始されている。

特に、子育て支援ルームでの活動においては、SUSSの学生たちが事前に英語の手遊びと絵本を準備し、「Finger Family Song ～ゆびさん家族～」「Going on a Bear Hunt～きょうはみんなでクマがりだ～」を紹介した。SUSSの学生たちが全身をつかってダイナミックに表現し、子どもたちが集中して楽しめるように働きかけていたことから、参加者全員で盛り上がる事ができた。大型絵本「はらぺこあおむし」の英語版を使った色遊び（赤は英語ではなんて言うの？などの声かけをしながら色探し）にもチャレンジするなど、子どもたちが自然と語学への関心を高めることができるような仕掛けも用意されていた。エンディングにはせんがわ劇場DELメンバーによるサクラが題材の絵本・紙芝居「はるだよ ニャオン」の読み聞かせがあり、花びらが舞う穏やかな雰囲気の中、それぞれが五感をフル活用して春を体感している様子がみられた。最後に、SUSSの学生たちから子育て支援ルームに参加した保護者へのインタビュータイムを設け、保護者から「熱心に話を聞いてもらえてすごく楽しい時間になった」「文化の違いを学ぶ機会になった」などの反応が得られ、子育て支援ルームの新たなスタイルを見出す貴重な機会となった。

## 2. 2023年度 SUSS 視察・シンガポール子育て支援施設視察

シンガポールは1965年の建国以来、順調な経済発展を遂げていることが多くの国際的な調査において報告されており、その成功は、教育システムおよび教育予算に負うところが大きい（小原，2021）との指摘がある。例えば、教育省歳出予算は、国防省所管の歳出予算に次ぐ規模であり、全歳出の16%を教育省の予算が占めている。国際的競争力を高め、維持できている背景としては、「二言語主義」が挙げられる。初等学校の1年生から、授業は公用語の一つである英語で行われ、同時に、華人系/マレー系/インド系及びその他の複数民族で構成される多民族国家であることから、文化的な背景やアイデンティティを尊重した教育体制を整えている。そのため、わずか1世代の間に初等教育から高等教育までの教育制度を整備した都市国家（埋橋，2016）としても注目されており、その教育制度については、本邦の幼児教育や保育のあり方について検討する際にも多くの示唆を与えてくれるものと考えられる。

さらに、効果的に幼児教育・保育サービスを提供することを目的とし、省の枠を超えて合理的な政策を



2-1. シンガポール社会科学大学 体験学習センター受付



2-2. シンガポール社会科学大学©SUSS 学内風景

実行しているECDA (Early Childhood Development Agency) の事業である認証システムについてまとめた埋橋 (2017) の報告から、各施設での自己評価および外部評価を効果的に使用し、就学前教育の質の向上を目指している様子がわかる。今回の視察の際にも、二言語主義に基づく幼児教育の実践場面および認証評価を受けている施設に出会うことができた。

アジアの中でも先駆的なSTEAM (Science/

Technology/Engineering/Art/Mathematics) 教育実践国の1つであるシンガポールでは、子どもたちに対しても、さまざまな場面で自然とSTEAM教育に接触できる場を提供している様子も見られた。

National Gallery Singaporeでは2017年以降、毎年、子どもたちが学び、遊びながら周囲の世界とより深く関わるができるさまざまな方法を探ることを目的としたキッズビエンナーレを開催している。また、

Table1 視察先一覧 (2023年8月)

視察先	施設概要
シンガポール社会科学大学 SUSS:Singapore University of Social Science (2023)	生涯教育を推進するため、応用社会科学を中心としたプログラムを有する大学であり、3つのH (Head: 専門的能力・Hart: 社会的認識力・Habit: 生涯学習への情熱 (習慣)) を教育理念としている。5つのスクール (人文・行動科学/ビジネススクール/人間開発学/法学/科学技術学) から構成されている。全日制学部と定時制学部のカリキュラムが用意されていることから、社会人学生も多数在籍している。 <a href="https://www.suss.edu.sg/">https://www.suss.edu.sg/</a>
THK EIPIC (Thye Hua Kwan) (2023)	特別な支援が必要な子どもたちのために、4つの幼児および児童早期介入 (EIPIC) センターが用意されている。具体的には、体験的な教育・セラピー・トレーニング・サポートサービスを提供している。治療サービスが必要な特別な支援が必要な場合には、小児治療センターのいずれかでサービスを受けることができる。 THK 家族調和センターの離婚支援専門機関 (DSSA) のサービスを通じて、両親の離婚の影響を受ける子どもたちへの支援も提供している。 <a href="https://www.thkmc.org.sg/services_detail/thk-early-intervention-for-children/">https://www.thkmc.org.sg/services_detail/thk-early-intervention-for-children/</a>
Sarada Kindergarten (2023)	1992年開園 (1993年1月授業スタート)。タミル語を第二言語として提供している幼稚園の一つ。コンピュータ支援学習を導入するなど先駆的な取り組みをしている。幼児教育の質の高さについては外部評価に基づく認定 (SPARK: Singapore Pre-School Accreditation Framework) を得ており、国内外からの視察も多い。 <a href="http://www.sarada.edu.sg/">http://www.sarada.edu.sg/</a>
The Little Skool-House (2023)	国内に20施設を展開している私立の保育・教育施設。2ヶ月児から6歳児までが利用可能。保護者が送迎しやすい場所 (視察した施設は大型ショッピングモール内に設置) に展開している点も強みとしている。海外での研修会に参加し、教育実践を積んだ保育者を配置している。子ども達の母語への教育にも熱心 (バイリンガルコミュニケーション) としての子どもの力を育成)。シンガポールレパトリーシアターや台湾からの演劇指導も導入し、子ども達が主体的に学ぶことが可能な環境づくりをしている。 <a href="https://www.littleskoolhouse.com/our-centres/the-little-skool-house-at-downtown-east">https://www.littleskoolhouse.com/our-centres/the-little-skool-house-at-downtown-east</a>
Montfort Junior School (Primary) (2023)	カトリックの男子校 (小中一貫学校)。建学の精神に則った教育の実践とともに、国指定のアクティブラーニングプログラムの3つの目的に沿ったカリキュラムを展開している。具体的には次の通りである。1. スポーツとゲーム・野外教育・舞台芸術・視覚芸術における楽しくて多様な活動。2. 身体的・認知的・社会的・美的・道徳的の5領域における児童・生徒の総合的な発達を促す取り組み。3. 児童・生徒が社会情動スキルを伸ばすためのさまざまな手段の提供。 <a href="https://www.montfortjunior.moe.edu.sg/">https://www.montfortjunior.moe.edu.sg/</a>
KidSTOP @ Science Centre (2023)	18ヶ月から8歳までの子どもたちの豊かな学びを促進する施設として開設された (1977年に開園しているサイエンスセンターに併設)。3,000m <sup>2</sup> のギャラリーの中で、子ども向けの科学に特化した内容について学ぶことができる。社会情動スキルについて学ぶコーナーもある。 インクルーシブな施設を目指し、子どもの特性に合わせて利用可能な「感覚レベル」に関するインフォメーションガイドも用意されている。 <a href="https://www.science.edu.sg/">https://www.science.edu.sg/</a>

STEM教育 (Science/Technology/Engineering/Mathematics) にA (Art) の視点を含めることの重要性をアピールした際の取り組みなどをわかりやすくパネルで示した展示も多数みられる。ものづくりの技術力に加え、デザイン性や教養の重要性について、子どものころから体験的に理解できる環境が身近にある。同様に、サイエンスセンターに併設されている体験型インドアプレイグラウンドであるKids STOPでは、未就学児のSTEAMへの関心を呼び起こすことを目的として、毎年STEAM学習フェスティバルを開催

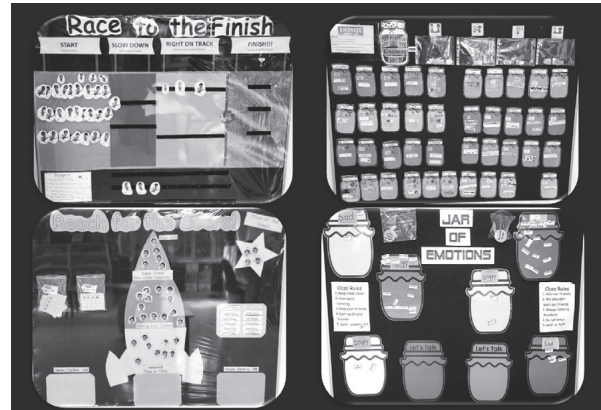
している。

シンガポールの世帯におけるインターネットの普及率は2019年時点で98%と報告されており(情報通信メディア開発庁, 2023) 幼児教育施設においても、ICTを活用した取り組みが数多く見られた。

本視察においては、①本学学生とSUSS学生の相互体験交流を視野に入れ、SUSSの視察のみならず、シンガポール来訪時に学生が訪問可能(インターンシップも含む)な施設への視察を行った。具体的な視察先はTable 1の通りであった。



2-3. THK EIPIIC (Thye Hua Kwan)



2-4. 感情表現ワーク・セルフコントロール力向上を目指した取り組み @サーラダー幼稚園



2-5. 子どもたちの興味関心に合わせた二言語学習教材 @The Little Skool-House



2-6. 社会性と情動の学習風景 @Montfort Junior School (Primary)



2-7. KidSTOP @Science Centre感情コントロールについて学ぶことを目的とした動画視聴コーナー



2-8. 感覚過敏傾向がある子どもへの配慮 掲示物 KidSTOP @Science Centre

[https://www.gevme.com/scsonlinetickets?fbclid=IwAR32D9utgSObh6EspYIFkBLZpwWpNYaFzSOS\\_4FpVweelcyZQ-8NA8xi24Q](https://www.gevme.com/scsonlinetickets?fbclid=IwAR32D9utgSObh6EspYIFkBLZpwWpNYaFzSOS_4FpVweelcyZQ-8NA8xi24Q)

### 3. 今後の展望と課題

SUSSおよびSUSSスタッフコーディネートによるシンガポールの幼児・児童教育施設の一部を視察することが可能となった。いずれの施設においても視察時間は短時間であったが、本学学生が来訪する際には、現地の大学生がインターンシップを行っている形式と同様の体験学習が可能である施設もあることが確認された。今後、本学学生がシンガポールを訪れる際には、事前に双方のニーズを把握した上で体験的学習ができるように設定していくことを目指す予定である。また、今回の視察を経て、視察背景となった活動（2023年3月の白百合女子大学におけるSUSS学生との交流学習）が既に先方においても効果を発揮していることも確認された。具体的には、幼児教育現場で働きながらSUSSで学んでいるPart-time Student（働きながら大学に通い、1学期間に2～3科目履修しながら6～7年間かけて大学を卒業する学生）が、本学での子育て支援ルームで体験した手遊び教材を職場で導入して実践しているという報告を受けた。一方、本学で2023年度に開催した子育て支援ルームにおいても、SUSSの学生が実践していた絵本の紹介方法を導入しており、双方の活動が相乗的に活性化されている様子がうかがえた。また、今回のシンガポール視察により、子どもの社会情動学習に関わる資料を蓄積することが可能となった（写真2-4, 2-7参照）。これらの資料は、本学で展開する子育て支援活動時に生かしていくことを計画している。

今後はさらに、乳幼児期から児童期の指導に関する考え方・指導法全般に関する発達心理学的および教育心理学的研究を展開し、大学・地域連携活動に基づく「よりよい子育て環境づくり」に向けた知見のさらなる蓄積を目指していく予定である。

\*視察は、筆頭著者および第二著者の2023年度白百合女子大学特別研修の一貫として行われた。本研究の一部は、公文教育研究会「KUMON」の学習法や指導法、及び「Baby Kumon」の指導システムの科学的な調査研究の助成を受けている。

### 引用文献

- 情報通信メディア開発庁. (2023). Infocomm Media Development Authority <[https://www.soumu.go.jp/g-ict/country/singapore/pdf\\_contents.html](https://www.soumu.go.jp/g-ict/country/singapore/pdf_contents.html)> (2023年9月15日10時13分)
- KidSTOP @ Science Centre. (2023). <<https://www.science.edu.sg/>> (2023年11月27日18時28分)
- Montfort Junior School (Primary). (2023). <<https://www.montfortjunior.moe.edu.sg/>> (2023年11月20日10時15分)
- 小原一晃. (2021). シンガポールの政策（教育政策）自治体国際化協会シンガポール事務所, <[chrome-extension://efaidnbmninnbpcajpcglefindmkaj/https://www.clair.org.sg/j/wp-content/uploads/2021/02/3\\_9\\_Kyouiku.pdf](chrome-extension://efaidnbmninnbpcajpcglefindmkaj/https://www.clair.org.sg/j/wp-content/uploads/2021/02/3_9_Kyouiku.pdf)> (2023年11月28日16時30分).
- Singapore University of Social Science. (2023). <<https://www.suss.edu.sg/>> (2023年8月30日8時5分)
- Sarada Kindergarten. (2023). <<http://www.sarada.edu.sg/>> (2023年9月20日9時20分)
- THK EIPIK (Thye Hua Kwan) (2023). <[https://www.thkmc.org.sg/services\\_detail/thk-early-intervention-for-children/](https://www.thkmc.org.sg/services_detail/thk-early-intervention-for-children/)> (2023年10月23日22時15分)
- The Little Skool-House. (2023). <<https://www.littleskoolhouse.com/our-centres/the-little-skool-house-at-downtown-east>> (2023年11月20日13時10分)
- 埋橋玲子. (2016). シンガポールの幼児教育・保育 (1) : 概況と背景, 同志社女子大学 学術研究年報, 67, 57-67.
- 埋橋玲子. (2017). シンガポールの幼児教育・保育 (2) 一質の認証システムSPARKに注目して一, 同志社女子大学社会システム学会 現代社会フォーラム13, 34-37.